



JUROKU Financial Group

2023

統合報告書
(ディスクロージャー誌)

人と、地域と、未来をむすぶ

地域に根ざして、140余年。

わたしたちは、こころと伝統を受け継ぎながら、
みなさまと向き合い、ともに歩んできました。

人の価値観や社会を取り巻く環境は
急速に、大きく、変わってきています。

わたしたちも変わり続けなければなりません。

これまでの枠を超えた、
より自由で、斬新なアイデアをかなえるために。

新たな挑戦により、
夢や想いをかたちにするために。

そして、なによりも、
ともに豊かな未来を創るために。

みなさまと地域のつながりや絆を、たいせつに。
十六フィナンシャルグループは、
人と、地域と、未来をむすびます。

Contents

十六FGの価値創造

トップメッセージ	03
会長×取締役 対談	09
経営・財務ハイライト	13
じゅうろくのあゆみ	17
十六フィナンシャルグループの概要	19
地域のポテンシャル	21
数字で見る十六フィナンシャルグループ	23
価値創造プロセス	25

十六FGのサステナビリティ

サステナビリティへの取組み	27
地域経済の活性化	31
特集 NOBUNAGAサクセションの設立	34
地域社会の持続的発展	35
特集 十六地域振興財団による社会貢献活動	38
環境保全と気候変動対策	39
多様な人材の活躍推進	47
特集 新人事制度の導入と持株会社への転籍	51
ガバナンスの高度化	53

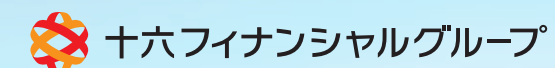
十六FGの成長戦略

第1次経営計画	55
マーケットインアプローチ戦略	57
DX戦略	59
地域コミット戦略	61
長期ビジョン「16Vision-10」	63
第2次中期経営計画	65
特集 「岐阜市本庁舎跡活用事業」 優先交渉権者への選定	67

十六FGの経営基盤

コーポレート・ガバナンス	69
リスク管理体制・コンプライアンス態勢	75
ステークホルダーエンゲージメント	79
コーポレートデータ	81

Profile



商号	株式会社十六フィナンシャルグループ
所在地	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理 ならびにこれに付帯関連する一切の業務 ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
資本金	360億円
設立日	2021年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミアム市場

(2023年6月30日現在)

統合報告書の発刊にあたって

本書は、十六フィナンシャルグループにおける短・中・長期的な価値創造に向けた取組みをステークホルダーのみなさまに分かりやすくお伝えすることを目的として編集したものです。
なお、編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC、現IFRS財団)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省による「価値協創ガイダンス2.0」などを参照しています。
本書を通じて、「人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ」の基本的な考え方をご理解いただきますようお願い申し上げます。

報告対象期間 > 2022年4月～2023年3月(一部、2023年4月以降の情報を含みます)

※当社は2021年10月1日設立のため、十六フィナンシャルグループ連結の2021年3月期以前の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結を記載しています。